

209 間伐推進指標林（大洞192へ）

試験期間 S62～

最終調査年度 令和5年

2023年

1 設定の目的

市場性の高い林木を収穫する間伐技術の普及と、その定着化に活用するとともに残存林木の生長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上に役立てる。

2 場所等

下呂市小坂町大洞 大洞国有林192へ林小班

機能類型等：水源かん養タイプ

3 面積

1.03ha（林地 0.96ha、林道 0.07ha）

4 施業等の概要

時期	林齢	作業種	内容
昭和27年3月	1	植栽	ヒノキ3,500本/ha
昭和27～32年	1～6	下刈	6回下刈実施
昭和34～58年	8～32	除伐	S34、S39、S44、S58年 4回つる切実施
昭和62年	36	間伐	本数率46%、材積率25%で実行
平成20年	57	間伐	本数率28%、材積率31%で実行

5 調査計画等

3年毎に生長量・収穫比率・樹形級区分を調査し、主伐に至るまでの成長度合い、形質のほか施業経過を記録する。

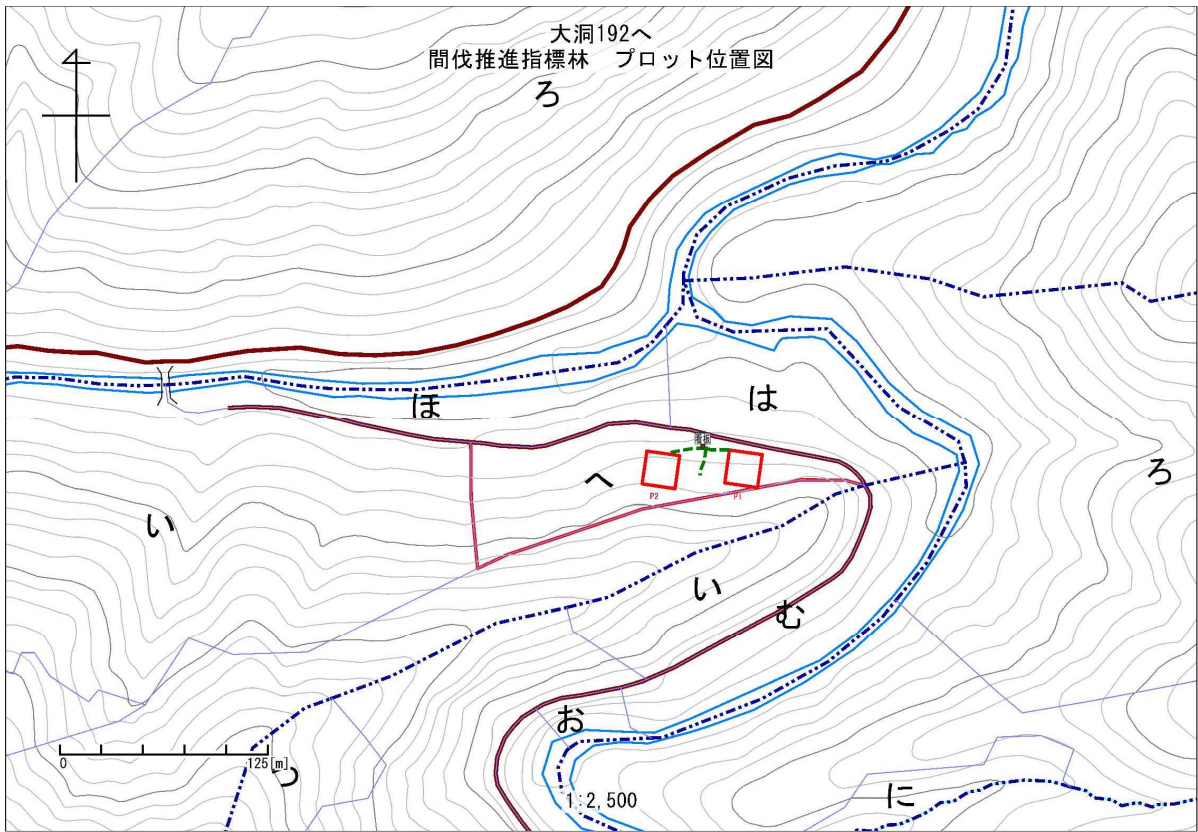
6 地況

標高	860m～900m
平均林地傾斜	29度
方位	北
土壌型	Bd（乾性褐色森林土）

7 プロット現況

年度	林齢 (年)	本数 (本/ha)	材積 (m ³ /ha)	平均直径 (cm)	平均樹高 (m)	RY (収穫比数)
平成20年	57	875	345.88	25.4	20.4	0.73
平成23年	60	700	353.63	26.3	20.5	0.70
平成26年	63	700	400.63	27.9	20.7	0.71
平成29年	66	700	448.88	29.4	21.0	0.72
令和2年	69	700	509.75	30.1	22.6	0.77
令和5年	72	700	558.38	31.1	23.1	0.78

※ヒノキの生育は良好であるが、樹冠閉鎖による照度不足で、裸地化した部分が50%以上を占めている。（収穫復命書より）



Plot 1



Plot 1



Plot2

